

海外渡航の手引き

—安全で快適な研修となるために—

福井工業高等専門学校

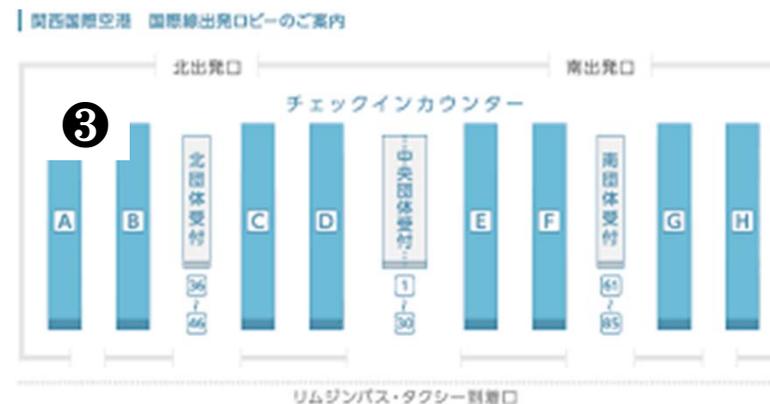
国際交流室

空港編

※関西国際空港をモデルにしていますので、他空港の場合は状況が異なることを注意して下さい。しかし、流れは同じです。

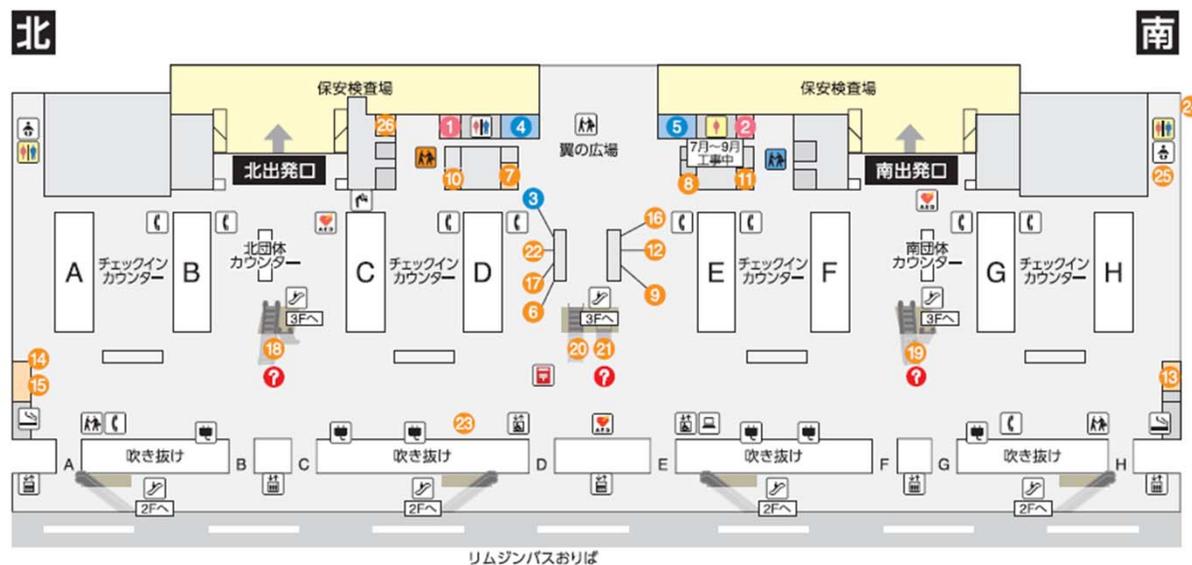
チェックインカウンター探し

- 国際線の出国 (International Departures) の場合、遅くとも**2時間前**にチェックインカウンターに到着すること。❶
- カウンターの場所は、空港内液晶ディスプレイ❷で便名と出発時間からカウンター番号 (F-21等) を探し、表示 (on time, delayed, new time, cancelled) を確認する。
- コードシェア便は複数の便名が表示されるのでジックリ見ること。
- アルファベットはカウンターの列名❸で数字は窓口番号。
- カウンターは航空会社毎に集まっており、その中で、出発便やクラス (ビジネス, エコノミー) 別に窓口が異なる。



チェックイン (Check-in) と手荷物預け

- カウンターで航空券 (e-ticket) とパスポートを提示し, 預け入れ手荷物 (スーツケース) を預ける.
- 窓側 (Window) か通路側 (Aisle) の希望があれば伝える.
- 預け入れ手荷物内に入れてはいけない物 (ライター, 火薬等) を要確認.
- 預け入れ手荷物の制限 (数, サイズ, 重さ) を要確認.
- 搭乗券 (Boarding pass) を受け取り, 座席番号と搭乗ゲート番号を確認する.
- 銀行, 両替所, 旅行保険, レンタルWiFiの店舗がフロア周辺に設置されている.
- 全ての準備が整ったら保安検査場①に向かう.



持ち込み品の注意

・『預け入れ手荷物(スーツケース)』と『機内持ち込み手荷物』の制限(数, 寸法, 重さ)を航空会社のホームページで確認する. 超過すると追加料金が必要.

・手荷物に絶対できない物の例

爆発物, 発火性・引火性物質, 高圧ガス, 有害物質など

・『機内持ち込み手荷物』にできない物の例

・ ハサミ, 工具, スプレー, ナイフなど

・ **100mlを越えるあらゆる液体物**(飲み物, クリーム, スプレー, シャンプー, 歯磨き粉等の練り状物, 半固形物, その他同様の物). ただし, その液体物を100ミリリットル以下の容器に入れて, それらを容量1リットル以下, 縦横の辺の合計が40cm以内の透明なジッパーのついた再封可能なプラスチック袋に余裕を持って入れれば認められる.



・『預け入れ手荷物』にできない物の例

・ ライター, マッチ, **予備用バッテリー**など

・『預け入れ手荷物』にできる物の例

・ ハサミ, 工具, ゴルフクラブ・竹刀・サーフボードなど長い物

・ 日用品・スポーツ用のスプレー

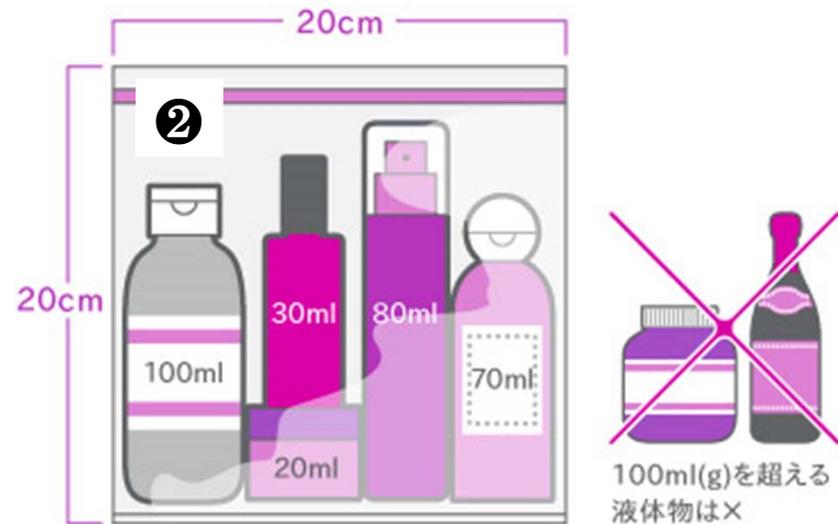
・ **バッテリーを内蔵した電子機器**(ただし, **電源オフ&衣類等で梱包**)

バッテリー(リチウム電池やリチウムイオン電池)を内蔵した電子機器は『預け入れ』と『機内持ち込み』のいずれも可能だが, 予備用のバッテリー単体の場合は『預け入れ』できない, 必ず『機内持ち込み』にすること. ただし, いずれの場合でもバッテリーの個数, 定格量, リチウム含有量に制限がある.

※上記の手荷物の規則は航空会社によって異なるためホームページで確認すること.

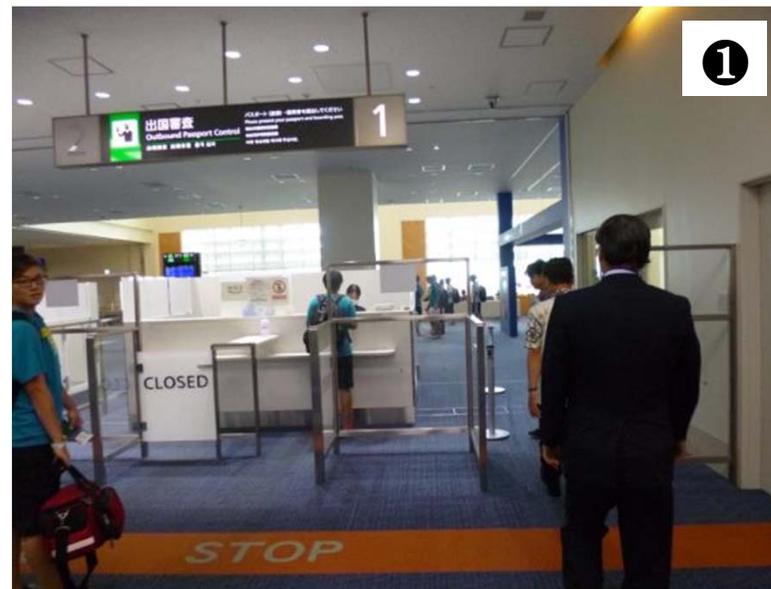
保安検査 (Safety inspection)

- 保安検査場の入口で搭乗券とパスポートを提示する。
- 検査ゲート①前で手荷物(カバン), 携帯電話, 金属(ベルト, ズック), 上着等をトレイに乗せて, 検査員に渡す. カバン内のノートパソコンやタブレットを出してトレイに乗せる。
- 化粧品等の液体類(100ml以下の容器, 合計1ℓ以下)はビニール袋(縦横20cm以下)②に入れてトレイに乗せる. ペットボトル等の飲み物, ライター, ナイフ等は持ち込み禁止。
- パスポートと搭乗券は持ったままで良い. 胸ポケットがあると便利。



出国審査 (Passport control) と搭乗 (Boarding)

- 列に並び1人ずつ審査を受ける①. パスポートのカバーは外しておく.
- 審査官にパスポートと搭乗券を見せる. 特に聞かれることはないが終わったら礼を述べると良い. ここを通過後に後戻りすることは難しい.
- 出国審査後は外国扱い. 免税品などショッピングを楽しむことができる.
- 初心者はまず**搭乗ゲートの位置を確認**してからショッピングを楽しむのがベター. 大空港の場合, 搭乗ゲートまで遠くて時間がかかる場合がある.
- 出発時刻30分前から搭乗開始となるので, できるだけ早くゲート前の待合場の椅子に座って待つこと.
- 搭乗案内が始まったら列に並んで順番にゲートを通り抜ける. 窓側が先, 奥が先のように搭乗順に制限を設ける場合があるのでアナウンスを良く聞く.
- ゲートではパスポートの写真ページで氏名と顔を確認し, 搭乗券のチェックを受ける.

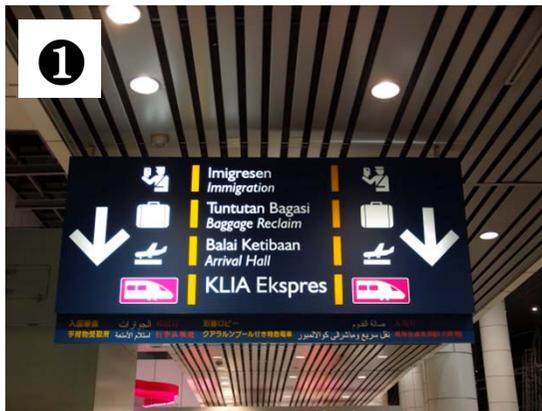


機内の過ごし方

- 機内に入ったら搭乗券に記載の自分の席を探す。通路が手前と奥に分かれるので機内表示か入口のCAに確認する(Aが手前, 大きい数字が右奥, A・Kは窓側, C・D・G・Hは通路側, Iがないのが一般的)
- 座席に着いたら速やかに座る。通路にいると渋滞を招く。手荷物は座席上の棚か前の座席の下に置く。搭乗に遅れると棚が一杯で使えない場合がある。
- 通路側の場合, 隣の席が埋まるまではシートベルトをしない。全員搭乗しドアクローズのアナウンスがあったらシートベルトを締める。携帯電話は機内モードON, データローミングOFFに設定する。時計も現地時間に設定すると良い。離陸後, 機内アナウンスがあるまではリクライニングやテーブルは使わない。ただし, アナウンスがあってもリクライニングを使わないのがマナー。
- 飛行機が苦手な人は「魔の11分間」を参考に。
- 離陸後は映画を観る, 外の景色を見る, 観光本で予習する, 寝るなど自由に過ごせば良い。
- 食事はオプションを聞かれる。国際線は飲み物無料(アルコールも)の場合が多い。
- 機内には狭い空間に様々な国, 性格, 体格の人間がいることを十分理解して行動する。
- トイレは早めに済ます(空きVacant, 使用中Occupied)。
- 入国時に**出入国カード**や**税関申告書**の提出が必要な国がある。パスポート情報, 便名, 現地での住所(ホテル名で良い)の情報を書いた**メモ**と**ボールペン**を手元に用意しておく。用紙は機内でCAが配付するので受け取ったらすぐに記入しておく。
- 着陸が近づいたらシートベルト, テーブル, リクライニング, 足下の手荷物を確認する。
- 着陸後, シートベルト着用サインが消えるまでは席を立ってはいけない。
- 自分より前の席の乗客から順番に降りるのがマナー。

到着

- 飛行機から降りたら通路の案内板①を見ながら入国審査場(Immigration)②に進む。空港によっては電車やバスで移動する場合がある。乗継便に乗る人はルートが異なるので決して人の流れだけに従わないように。
- 入国審査場で外国人用窓口の列に並び1名ずつ審査を受ける。ここで、パスポート、搭乗券、(出入国カード)を提出する。滞在期間が長いので「目的, 滞在期間, 滞在先(ホテル名)」等を聞かれる可能性が高い。英語で問答できるようにしておくこと。入国審査場を通過するとそこは外国。(※観光目的で以下の日数以内の滞在ならビザは不要。マレーシア90日, フィリピン30日, タイ30日, 台湾90日, インドネシア30日, ドイツ90日。)
- 荷物受取場(Baggage Claim)③に進み、航空便名が示されているターンテーブルで自分の荷物を受け取る。万が一、荷物が出てこなかったりバッグが破損していたらサービスカウンター(Baggage enquires)で問い合わせる。
- 各国の制限を超える持込品がない場合は税関(Customs)をそのまま通過し、到着ロビーに進む。
- ロビーには日本語でタクシーの客引きをする人達がいるが決して相手にしてはいけない。



帰国

■現地の空港

- 基本的には日本から出国するプロセスと同じと考えて良い。しかし、国や空港によって様々なので自身で事前に調査する。空港内の案内表示は現地語と英語。
- 現地の空港に遅くとも**2時間前**に到着し、チェックイン、セキュリティーチェック、出国審査（出国カード必要）、搭乗の順番。
- 搭乗前にお土産等のショッピングができるが免税品にはパスポートのチェックがある。
- お土産として日本に持ち込めないもの（肉類、植物、コピー商品）に注意する。
- 預け入れ荷物の制限（数、サイズ、重さ）を要確認。

■機内

- 「**携帯品・別送品申告書**（ベージュ色の細長い紙）」を受け取り、必要事項を記入しておく。

■日本の空港

- 現地で体調を崩した場合（高熱等）、入国審査手前の検疫所に申告し手続きをする。
- 入国審査所では日本人の窓口に並ぶ。
- 手荷物引渡所のターンテーブルで自分のバックを受け取る。時々、麻薬捜査犬が近寄ってくる。
- 税関検査所で「携帯品・別送品申告書」を提出する。「訪問先、同行者、期間」等を聞かれる場合がある。カバンの中身をチェックされる場合がある。
- 国際線到着ロビーに出て、福井行きの交通機関へと向かう。

生活編

※東南アジア諸国への渡航をモデルにしています。
しかし、他国の場合もほぼ同様です。

■健康管理

- 生水は絶対に飲まない。
- 氷入りの飲み物や火の通っていない食べ物(サラダ, 刺身)は要注意。
- 場合によってはアルコール入りのウエットティッシュで食器を拭く必要もある。
- 東南アジアでは室内の冷房が強いので長袖の服が必要。
- 屋外では熱中症対策として常に飲み水を携帯。
- 飲み慣れた常備薬を持参する。
- デング熱, マラリア, ジカ熱対策の虫除けスプレー, 携帯用電気蚊取器, ムヒを準備。
- 屋外では自動車の排気ガスや粉塵が多いのでマスクを準備。
- 予防接種は基準に則り自己判断で接種。
- 食事のバランスを心掛けて睡眠を十分にとる。
- ストレスを溜めないよう, こまめに音楽鑑賞などでリフレッシュをする。

■安全管理

- 自分の緊急連絡先(自宅住所, 自宅電話, 携帯電話とメールアドレス[本人と保護者])を国際交流室と訪問先に伝える. また, 訪問先の緊急連絡先(住所, 電話, 担当者の携帯電話とメールアドレス)を保護者に伝える.
- 緊急連絡先リストは常に携帯する.
- 緊急事態が発生したら, フローに従い, 受入先担当者, 保険会社, 福井高専, 保護者に連絡する.
- パスポートは身分証明書として常時携帯が基本だが紛失しないよう注意.
- クレジットカード等のカード類の両面コピーとサポートセンターの連絡先を持参する.
- パスポートの写真面コピーと日本大使館の連絡先を持参する.
(再発行のための事前準備品: パスポート用写真, 戸籍謄本, 身分証明書など)
- 航空券のコピーと航空会社の連絡先を持参する.

- 外出時の服装や態度
 - 大通りを歩き, 危険な地域には近づかない.
 - 過激な服装, 貴金属や高級ブランド品を過度に身に着けない.
 - 貴重品(財布・現金・スマホ・金目の物など)を人目にさらさない.
 - スーツケースには鍵をかける.
 - 隙のある態度をとらない.
 - 見知らぬ人から褒められる, 不自然な親切には警戒する.
(日本語で近寄る人には特に注意. 一方で会話のチャンスでもあります.)
 - 相手国の人が不快に思うような言動をしない.
 - Yes, No, わからないはハッキリと伝える.

留学生危機管理システム OSSMA LOCATOR連携アプリ



留学生危機管理システム OSSMA LOCATOR
連携アプリ 4+
Emergency Assistance Japan Co., Ltd.
無料

スクリーンショット iPhone iPad



説明

LOCATORと連携した「今ここ」ボタンで、手軽に現在地を報告。プッシュ通知による安否確認も加わり、OSSMAサービスはより一層留学生に寄り添います。

日本エマージェンシーアシスタンス(EAJ)が提供するクラウドシステム、OSSMA LOCATOR(留学生安全管理システム)のサポートアプリです。これまでのメールによる安否確認に加え、プッシュ通知でも安否確認のメッセージが届きます。そのため以前よりも手軽に回答できるうえ、一緒に現在地の報告もできるようになりました。

OSSMAヘルプラインの電話番号や会員番号など、緊急時に必要な情報がスマホアプリ一つにまとまり、留学生の皆様様に常に寄り添います。

■対象者

ユーザー登録済みのOSSMA会員様。

■機能

○「今ここ」ボタンで現在地を報告

会員様ご自身の操作による位置情報送信で無事の報告をします。

送信された情報は学校、保護者などがOSSMA LOCATOR上で閲覧・管理します。

○電話で相談

渡航先でのトラブル発生時、怪我や病気をしたときなどに電話で相談ができます。

必要に応じて治療費用の支払代行、医療通訳の手配、多言語対応医療機関の紹介、帰国搬送手配など、事態の収拾までを一貫してサポートします。

○お知らせ

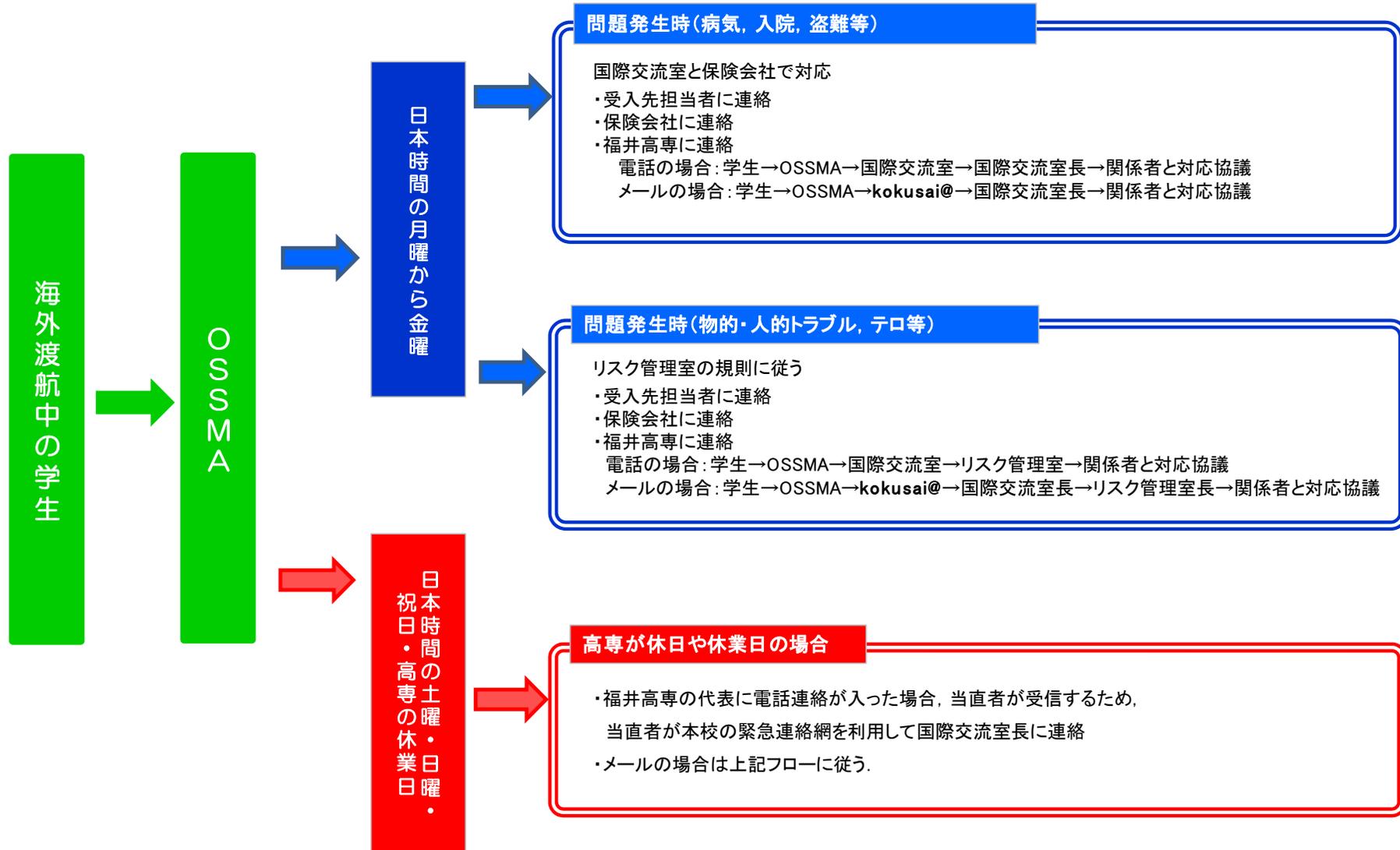
世界各地の治安、自然災害、テロ、暴動や感染症など、EAJの世界的ネットワークにより収集した最新の情報を随時提供します。

○その他

会員番号やOSSMA LOCATORへのリンクなど、サービスご利用に必要なその他情報を掲載しています。

1日に1回、「今ここ」ボタンをプッシュして保護者や学校に安全情報を連絡してください！

海外渡航中の緊急事態発生時の連絡フロー



EMERGENCY

EMERGENCY EMERGENCY EMERGENCY EMER
EMERGENCY EMERGENCY EMERGENCY EMERGENCY EMERGENCY EM

【重要】緊急事態発生時は安否確認の連絡を！

地震やテロ、交通機関の事故など、海外渡航中に緊急事態が発生した場合、影響の有無に関わらず速やかに下記まで安否確認の連絡をしてください。

電話 +81-778-62-1111 (福井高専代表番号)

FAX +81-778-62-2597 (総務課FAX, 災害時緊急回線)

メール kokusai@fukui-nct.ac.jp (福井高専国際交流室)

現地に到着したら kokusai@ と指導教員, 担任, 専攻科委員にメールを送って下さい。

■生活

- 観光ガイドブック(地球の歩き方等)は便利.
- 現地通貨から日本円への換算が素早くできると良い.
例えば, マレーシアでの生活費は日本の約80%, 全て外食でRM200/週が目安, RM1(リングgit) = 約25円
(マクドナルドのセットRM15, 中国食レストランRM15~25, 食パン薄切り8枚RM3, 牛乳パックRM9) ※2016年情報
- **海外での携帯電話の使い方を渡航前にショップで確認する.**
- インターネット使用料は, 日本の携帯をローミング設定で使用 > 日本で海外WiFiをレンタル > 現地でWiFiをレンタル
- 電話を海外で着信した場合は着信側に海外着信料がかかり, 発信した場合は着信相手と場所により異なる.
- 電話の国番号は日本81, マレーシア60, フィリピン63, タイ66, 台湾886, インドネシア62, ドイツ49
- 時差1~2時間は体調への影響は少ないが到着後の時間確認は要注意. ドイツは7時間.
- トイレは洋式, 水洗とは限らないので現地仕様に順応する. 携帯用ティッシュも準備.
- **生活費(宿泊代, 食事代, お小遣い)を事前に見積もり現金等で持参する.**
- 生活や研修を行ううえでノートパソコンを持参すると便利.
- 英語を話す機会を自ら作る.
- 現地語の「ありがとう」, 「こんにちは」, 「さようなら」程度は覚えて使う.
- 週末は是非, 異文化体験を.
- 訪問先の方々には誠心誠意, 礼儀を尽くし, 報連相をしっかりと!

■問い合わせ先

- インターンシップ: キャリア支援室
- 海外旅行保険: 日本エマージェンシーアシスタンス, 国際交流室
- 予防接種: 保健室
- 現地での生活: 受入先の担当者

■心構え

- ホームステイ
 - 常に**感謝**の気持ちを持つ.
 - **意思をはっきりと伝える**(言わなければ伝わらない).
 - 「何かしてくれる」は当たり前ではない. **自分のことは自分でやる.**
 - 予定や食事の変更などの**連絡は早め**に.
 - コミュニケーションなど, 何事にも**積極的に**.
 - アレルギー(食べ物, ペット, 薬品など)は必ず申告する.
 - 出された食事はまずはチャレンジ(食べられないものは事前に伝える).
 - 海外のパソコンは日本語入力ができない場合が多い.
 - 困ったことがあったら, ホームステイ先の人に**すぐ相談**する.
- インターンシップ
 - 海外でしか得ることのできない**理由を明確**にする.
 - **英語力**が必要な環境に身を置く.
 - **責任感**を持って仕事に取り組む.
 - 小さなことでもいいので, **業務の改善**を行う.
 - 企業内の問題点を見つけ出し,
 - 原因の仮説を立て,
 - 改善策を立案し, 実行する.
 - 結果を評価し, 更なる改善を行う.

My message to you

福井高専で海外研修に参加する学生が少しずつ増えています。フロンティア精神を持って後輩に繋げてください。国や派遣先によって得られる経験は様々です。是非、他の人とは異なる経験をしてきてください。

海外で経験する怖いことや危ないことは、日本で経験したことに比べたら極めて少数です。怖れる必要は全くありません。それよりも楽しい経験の方が多はずです。ただし、日本の感覚やルールで行動すると大きな間違いが発生します。異国にいるという緊張感を持続してください。

外国人と会話できないと、人種や服装等の見た目で見判断してしまいます。しかし、日本人と同じように話してみれば99%が普通の人です。会話が理解への近道です。

技術者が英語を話せるようになることがグローバル化ではありません。世界の貧困や環境問題に対して高い日本の技術力をどう役立てるか、また、他の先進国に負けない技術をいかに生み出すか、ということを考えることも『グローバルエンジニア』の使命です。海外に出て、日本の役割と、なぜ英語が必要なのかを再考してください。

少子高齢化で人口が減少していく日本において、今後の経済を発展させるためには日本の技術を外国に売り込むことが重要です。そのためには他国が何を必要としているのかを知る必要があります。そのためには、その国の人、風土、環境を、現地の色、音、温度、味、臭いで感じる事が近道です。これを実行するためには、世界共通語である『英語力』だけではなく、それを使う『会話力』、それをさらに分かりやすくする『表現力』、異国で生活する『人間力』が大事です。

今回の海外研修でこの中のどれかを少しでも向上してきてください！

Have a Great Experience!



Kuala Lumpur, MALAYSIA



Taipei, TAIWAN



SINGAPORE



Hanoi, VIETNAM



Bangkok, THAI